



八

はちじょう

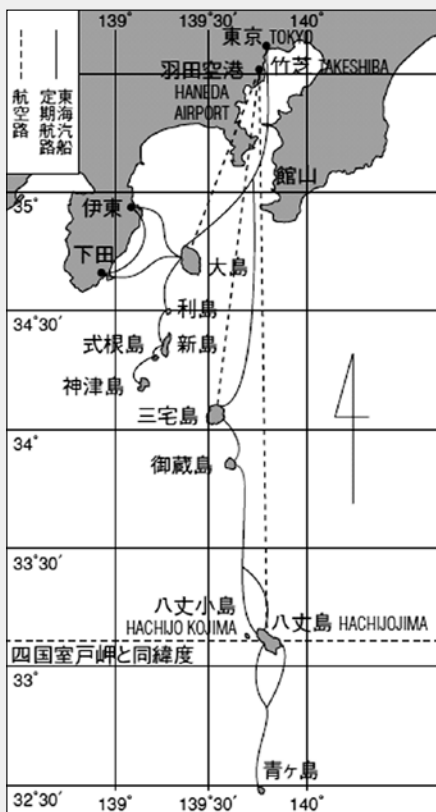
2012

資料編

東京都八丈町勢要覧

H A C H I J O 2 0 1 2

■八丈島の位置



■地勢

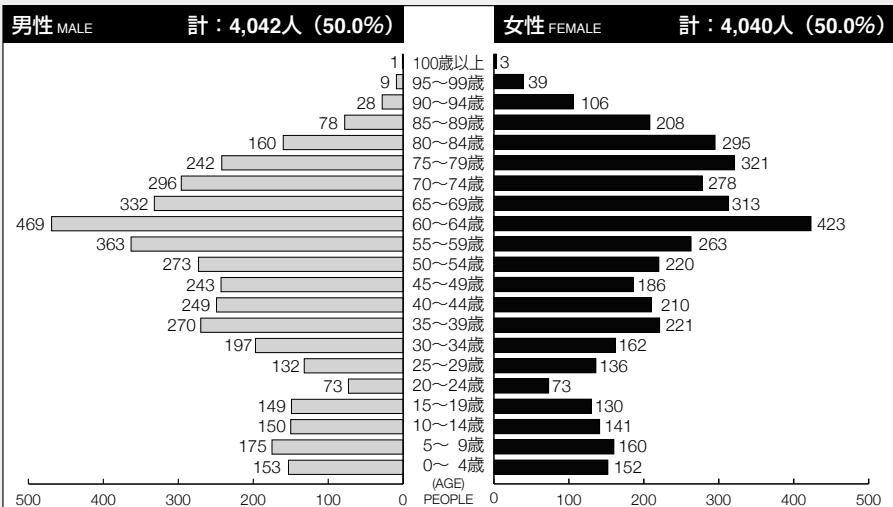
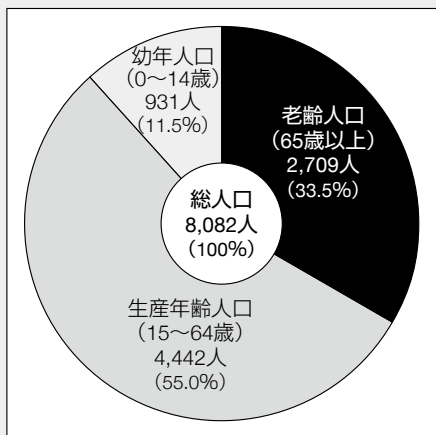
地名	区分	面積 AREA (km ²)	周囲 CIRCUM-FERENCE (km)	位置 LOCATION		東京からの距離 DISTANCE FROM TOKYO (km)	緯度比較 COMPARATIVE LATITUDE
				北緯 LAT.N	東経 LATE		
八丈島 HACHIJUJIMA		69.52	58.91	33° 03'~33° 09'	139° 44'~139° 52'	287	高知県 室戸岬 CAPE MUROTO KOCHI PREF.
八丈小島 HACHIJU KOJIMA		3.10	8.70	33° 07'	139° 41'		
計 TOTAL		72.62	67.61	-	-		

■気象概況

主要気象	八丈島 HACHIJUJIMA	東京 TOKYO	小笠原・父島 OGASAWARA (CHICHUJIMA)	備考 COMPARISON
年平均気温 (°C) AVERAGE ANNUAL TEMP.(°C)	17.8	16.3	23.2	那覇 23.1
最寒月平均気温 (°C) AVG. TEMP. OF COLDEST MONTH (°C)	1月 10.1	1月 6.1	2月 17.9	那覇 17.0
日最高気温の最暖月平均値 (°C) AVG. HIGH. HOTTEST DAY OF HOTTEST MONTH (°C)	8月 29.3	8月 31.1	7月 30.0	大阪 33.4
日最低気温の最寒月平均値 (°C) AVG. LOW. COLDEST DAY OF COLDEST MONTH (°C)	1,2月 7.5	1月 2.5	2月 15.3	
年降水量 (mm) ANNUAL PRECIPITATION (mm)	3,202.4	1,528.8	1,292.5	屋久島 4477.2 尾鷲 3848.8
年日照時間 (時間) ANNUAL HOURS OF SUNSHINE (H)	1,398.5	1,881.3	2,038.5	潮岬 2201.2 山形新庄 1320.0
年平均湿度 (%) ANNUAL AVERAGE HUMIDITY (%)	80	62	77	軽井沢 80
年強風日数 (10m/s以上) DAYS/YEAR WITH WINDS ≥10m/s	134.3	22.1	24.5	室戸岬 253.7
年強風日数 (15m/s以上) DAYS/YEAR WITH WINDS ≥15m/s	22.4	0.4	2.3	室戸岬 108.2

(注) ①1981~2010年の30年間の平均
 ②八丈島測候所：北緯 33°06 東経 139°47 標高 79.2m
 ③年強風日数において、10m/s以上の日数は15m/s以上の日数を含む。

■年齢別人口構成 (平成24年4月1日)

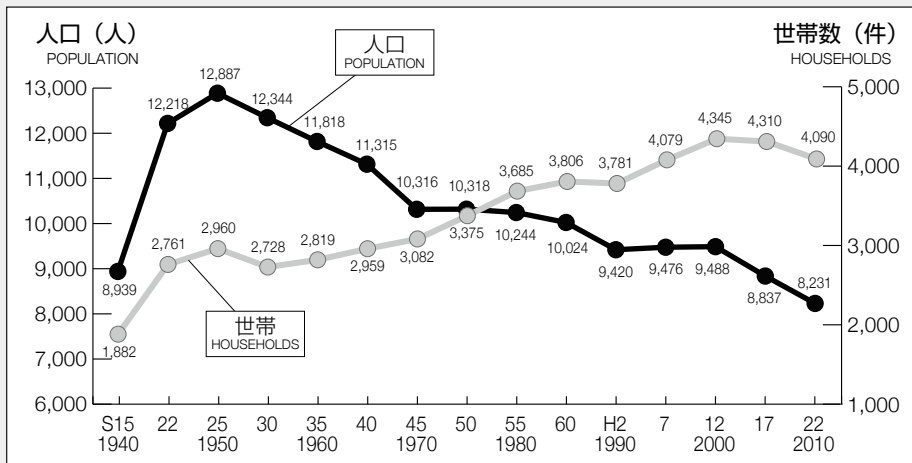


■地域別世帯数と人口 (平成24年3月31日)

地域 DISTRICT	世帯数(世帯) HOUSEHOLDS	人口(人) POPULATION
三根 MITSUNE	2,081	3,716
大賀郷 OKAGO	1,515	2,671
檜立 KASHITATE	304	537
中之郷 NAKANOGO	401	766
末吉 SUEYOSHI	221	392
計 TOTAL	4,522	8,082

八丈島における外国人登録者数 REGISTERED FOREIGNERS: 120人

■人口・世帯数の推移 (平成22年国勢調査)

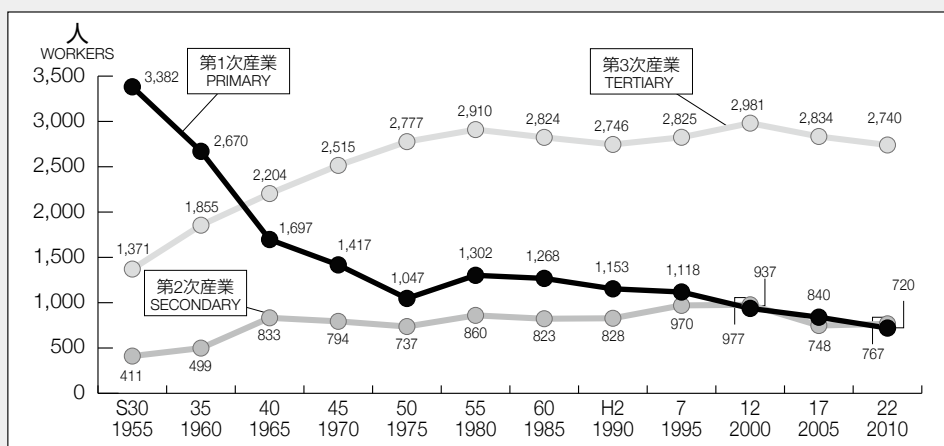


■産業別就業者数（平成22年国勢調査）

就業者数/EMPLOYED：4,231人 15歳以上人口/PEOPLE 15 OR OLDER：7,272人 労働力人口/LABOR FORCE：4,407人

第1次産業 PRIMARY INDUSTRY WORKERS 720人 (17.0%)		第2次産業 SECONDARY INDUSTRY WORKERS 767人 (18.1%)		第3次産業 TERTIARY INDUSTRY WORKERS 2740人 (64.8%)						
農業 602人 (14.2%)	漁業 115人 (2.7%)	建設業 621人 (14.7%)	製造業 146人 (3.5%)	運輸業・郵便業 212人 (5.0%)	卸・小売業 473人 (11.2%)	宿泊・飲食サービス業 441人 (10.4%)	教育・学習支援業 223人 (5.3%)	医療・福祉 394人 (9.3%)	その他のサービス業 266人 (6.3%)	公務 318人 (7.5%)
	林業 3人 (0.1%)		電気・ガス・熱供給・水道業 29人 (0.7%)	情報通信業 20人 (0.5%)		生活関連サービス・娯楽業 145人 (3.4%)	学術研究・専門・技術サービス業 68人 (1.6%)	不動産・物品賃貸業 35人 (0.8%)	金融・保険業 27人 (0.6%)	複合サービス業 89人 (2.1%)
										分類不能 4人 (0.1%)

■産業別就業者の推移（平成22年国勢調査）

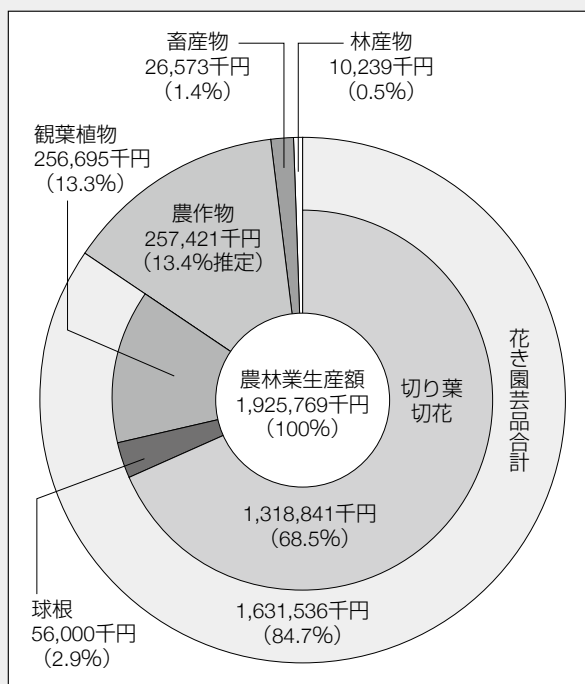


農業 AGRICULTURE

■農家数の推移（農林業センサス）

年	総計	自給的農家	販売農家
S50 1975	870戸	537 (61.7%)	159 (18.3%)
S55 1980	809戸	461 (57.0%)	109 (13.5%)
S60 1985	775戸	445 (57.4%)	99 (12.8%)
H2 1990	662戸	294 (44.4%)	119 (18.0%)
H7 1995	658戸	213 (32.4%)	119 (18.1%)
H12 2000	621戸	159 (25.6%)	134 (21.6%)
17 2005	405戸	119 (29.4%)	89 (14.3%)
22 2010	489戸	100 (20.4%)	106 (21.5%)

■農林業生産額（平成23年1月～12月）



■経営耕地・作物別作付面積（平成24年1月1日）

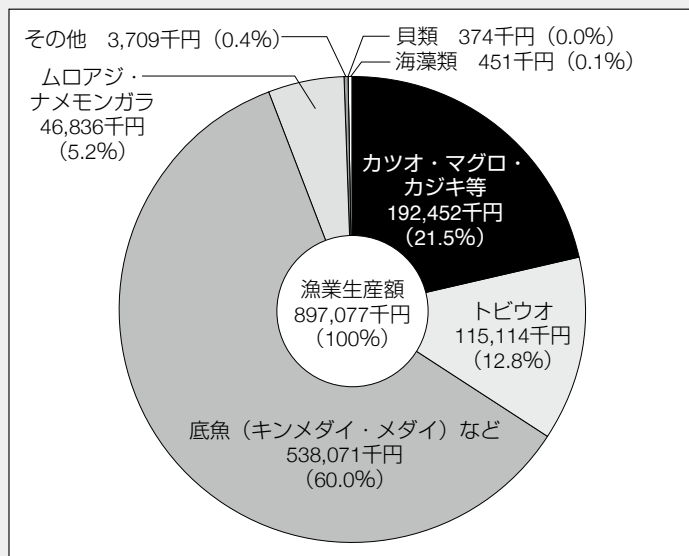
作物	面積 (ha)	割合 (%)	分類
フェニックスロベニー	217	58.0%	花き園芸 74.6%
ストレッチア	13	3.5%	
球根類	1	0.3%	
その他の花き	48	12.8%	
あしたば	46	12.3%	その他農作物 25.4%
野菜・イモ	29	7.8%	
飼料作物	20	5.3%	
計	374	100%	100%

漁業 FISHERY

■種類別漁獲高 (平成23年1月～12月)

	漁獲量 (kg)	金額 (千円)	平均単価 (円)	金額比率 (%)
トビウオ (流刺網・流まき網)	323,872	115,114	355	12.8%
ムロアジ・ ナメモンガラ (棒受網)	203,405	46,836	230	5.2%
カツオ マグロ カジキ等 (曳縄)	322,961	192,452	596	21.5%
底魚等 (一本釣)	475,621	538,071	1,131	60.0%
テングサ等 (潜水)	652	451	692	0.1%
トコブシ等 (潜水)	70	374	5,343	0.0%
その他	2,301	3,709	1,612	0.4%
合計	1,328,882	897,007	675	100%

■漁業生産額 (平成23年1月～12月)



■漁港の状況 (平成24年4月1日)

区分	種別	指定日	管理者	対象船舶	漁港施設
神湊漁港	第4種	昭26.7.10	東京都	20t	防波堤 568m 岸壁 921m 船揚場 5,394㎡ 照明施設一式
八重根漁港	第4種	昭26.7.10	東京都	20t	防波堤 685m 岸壁 752m 船揚場 4,455㎡ 照明施設一式
中之郷漁港	第1種	昭27.6.23	東京都	20t	防波堤 251m 岸壁 105m 船揚場 3,748㎡ 照明施設一式
洞輪沢漁港	第1種	昭27.6.23	東京都	20t	防波堤 577m 岸壁 229m 船揚場 3,315㎡ 照明施設一式

■魚種別漁獲量順位 (平成23年1月～12月)

順位	種名	漁獲量 (kg)
1	キンメダイ	334,860
2	トビウオ類	323,871
3	カツオ類	247,911
4	ムロアジ	196,846
5	メダイ	92,097
6	マグロ類	56,841
7	ヒメダイ	14,420
8	ハマダイ	9,586
9	ナメモンガラ	6,558
10	シイラ	6,339

■漁船数 (平成23年12月31日)

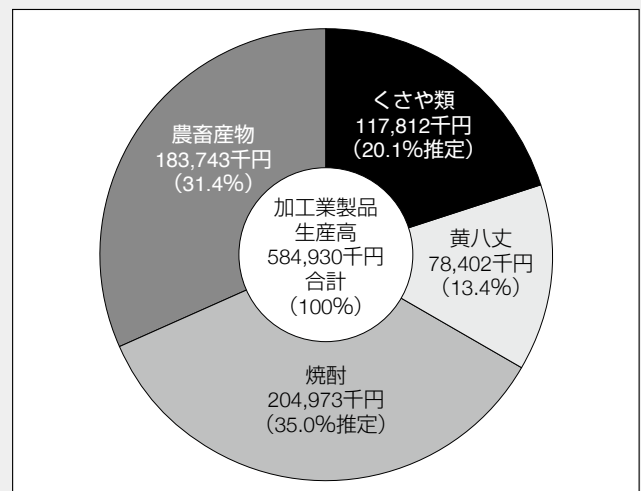
3トン未満	61隻
3トン～10トン未満	76隻
10トン～20トン未満	19隻
20トン以上	0隻
合計	156隻

※官公庁船を除く

商業

COMMERCE & MANUFACTURING INDUSTRY

■加工業製品生産調べ (平成23年1月～12月)



※農畜産物には主要アシタバ加工業者の生産額を含む

観光 SIGHTSEEING

■主な行事（平成23年）

パブリックロードレース	1月
フィッシングチャレンジカップ	3月
フリージアまつり	3月～4月
マリンフェスティバル	3月～9月
夏まつり	7月
タコスカップ（サーフィン大会）	8月
納涼花火大会	8月
海遊魚まつり	9月～11月
大神宮まつり	10月
総社まつり	11月
庁まつり	11月、12月

■宿泊施設（平成24年1月）

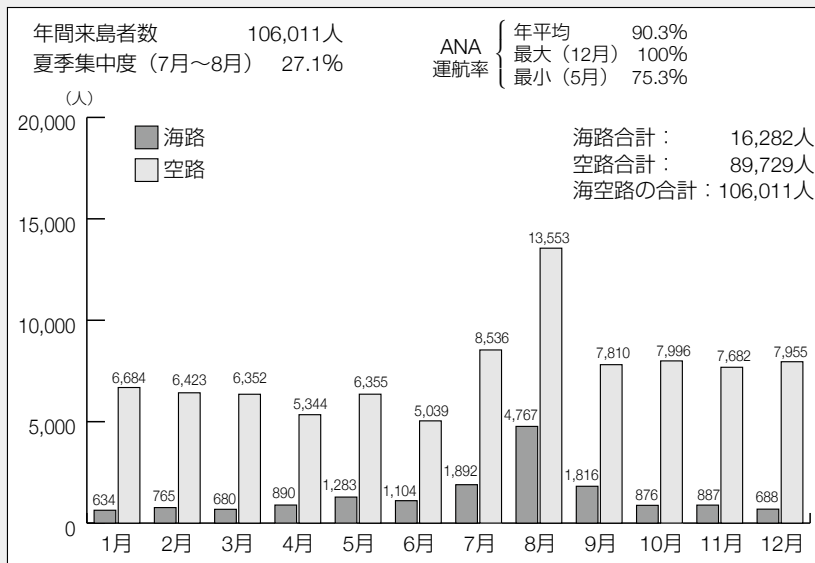
（休業中は含まず）

区分 CLASS	ホテル・旅館 HOTEL / RYOKAN		民宿・ペンション MINSYUKU(INNS) / PENSIONE		合計 TOTALS		キャンプ場 CAMPGROUNDS	
	軒数 NO.	登録定員 CAPACITY	軒数 NO.	登録定員 CAPACITY	軒数 NO.	登録定員 CAPACITY	箇所 NUMBER	張数 SPACES
三根 MITSUNE	3	371	41	943	44	1,314	1	80
大賀郷 OKAGO	1	220	34	754	35	974	0	0
榎立 KASHITATE	0	0	0	0	0	0	0	0
中之郷 NAKANOGO	0	0	3	132	3	132	0	0
末吉 SUEYOSHI	0	0	4	98	4	98	0	0
計 TOTALS	4	591	82	1,927	86	2,518	1	80

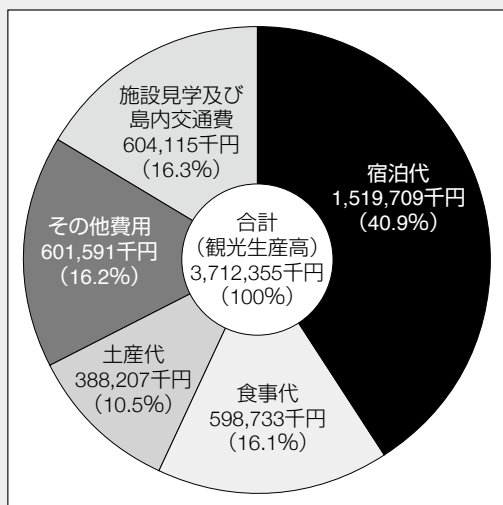
ホテル	12,000円くらいから	旅館	9,000円くらいから
ペンション	9,000円くらいから	民宿	8,000円くらいから

（1泊2食：2名1室料金）

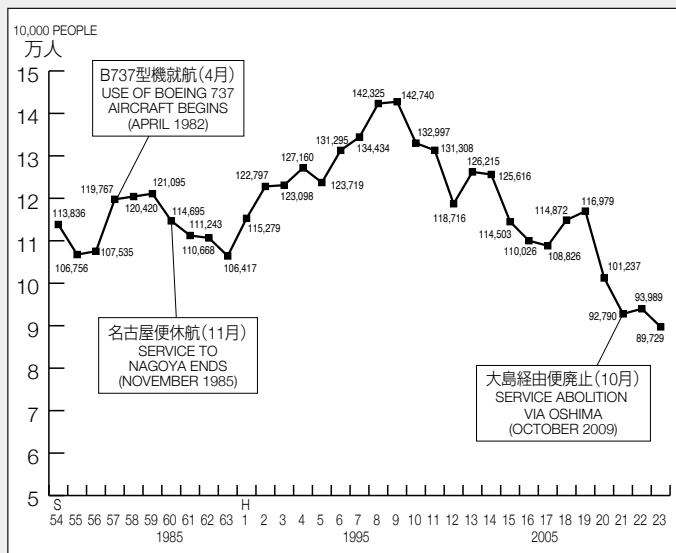
■航路別来島者数の月別推移（平成23年1月～12月）



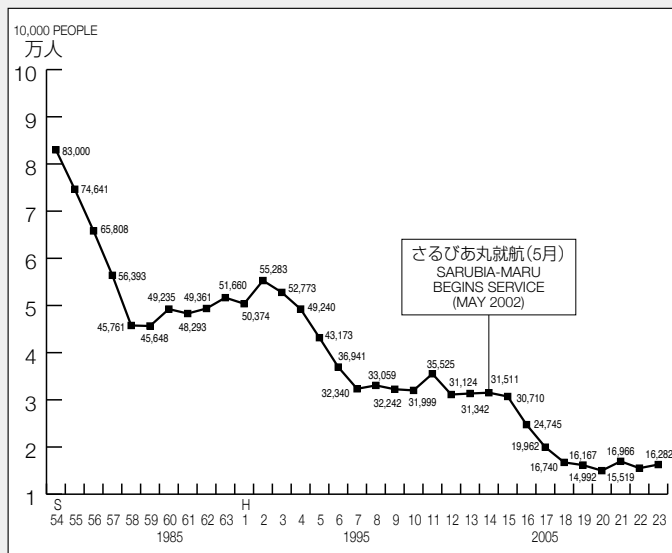
■観光客消費額推計（平成23年1月～12月）



■空路便来島者数の推移



■船便来島者数の推移



保健 HEALTH

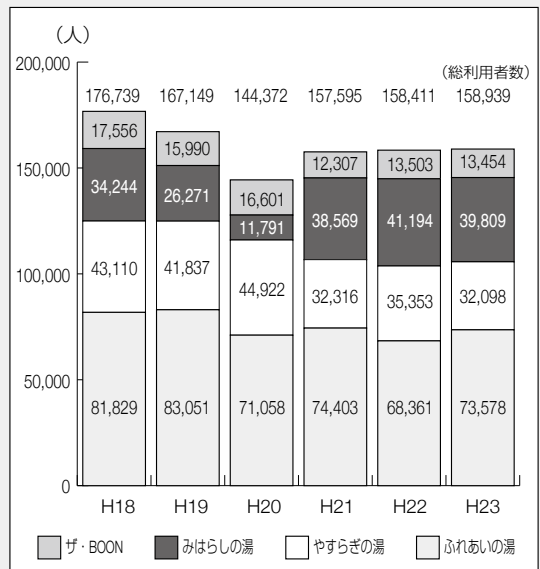
医療機関などの施設状況 (平成24年4月1日)

町立病院	1箇所
保健所	1箇所
診療所	3箇所
歯科診療所	6箇所
施術所 ・あんまマッサージ ・指圧師 ・はり師 ・柔道整復師	6箇所
薬局	3箇所
薬種商	0箇所
医薬品特例販売店	10箇所
歯科技工所	1箇所

集団検診数 (平成23年度)

胃がん検診	X線	396人
肺がん検診	X線	813人
	喀痰	158人
大腸がん検診		769人
子宮がん検診	頸部	152人
	体部	36人
乳がん検診	マンモグラフィ	164人
	視触診	164人
特定健康、健康診査 (長寿・住民)		877人
骨粗鬆症(こつそしょうしょう)検診		364人
計		3,893人

温泉利用者数 (平成23年度)



※みはらしの湯 平成18年2カ月休業
平成19年～平成20年12カ月休業
※ふれあいの湯 平成20年1カ月休業
※やすらぎの湯 平成23年7カ月休業

福祉 WELFARE

高齢人口 (平成24年4月1日)

65歳以上	2,709人		
高齢人口比率	八丈島	東京 (H24.9.15)	全国 (H23.10.1)
	33.5%	21.3%	23.3%

高齢者祝金の状況 (平成23年度)

	人数	金額
90歳祝金	41人	820,000円
100歳祝金	3人	300,000円

児童手当支給状況 (平成23年度)

	児童手当	児童育成手当
受給対象児童数(のべ人数)	9,022	2,085
支給金額(円)	112,775,000	28,267,500

生活保護扶助別実施状況 (平成23年度)

世帯数(世帯)	149世帯
人員(人)	183人

区別	生活	住宅	教育	介護	医療	生業	葬祭	出産	計
金額(千円)	97,957	32,545	502	554	4,663	548	585	0	137,354千円

介護保険要介護認定者数 (平成24年4月1日)

要介護度	人数
要支援1	74人
要支援2	53人
経過的要介護	0人
要介護1	96人
要介護2	76人
要介護3	80人
要介護4	85人
要介護5	77人
合計	541人

社会福祉協議会の状況 (平成24年4月1日)

会員数	2,509件	
事業予算	132,79万円	
内訳	一般会計	131,28万円
	応急小口資金特別会計	101万円
	歳末たすけあい特別会計	50万円

保育園状況 (平成24年4月1日)

施設数	4箇所	
定員	422人	
実員	239人	
措置率	56.64%	
職員数	34人(保育士 26人・調理員 8人)	
事業費	2億9,427万9千円	
	国費	0千円
	都費	47,456千円
	町費	192,680千円
	住民負担 その他	48,912千円 5,231千円

障害者手帳交付状況

(障害の重複あり) (平成24年4月1日)

障害区分	人数
視覚	36人
聴覚	17人
肢体	183人
平衡	1人
言語	10人
そしゃく	1人
内部障害	103人
計	351人

愛の手帳交付状況

(平成24年4月1日)

18歳未満	3人
18歳以上	45人
計	48人

精神障害者保健福祉手帳交付状況

(平成24年4月1日)

交付数	60人
-----	-----

老人クラブの状況

(平成24年4月1日)

クラブ数	20クラブ
会員数(人)	1,139人
クラブ助成金額	6,118,000円

国民年金加入状況

(平成24年4月1日)

被保険者数	2,011人
第1号被保険者数	1,595人
第3号被保険者数	366人
任意加入被保険者数	50人

国保保険給付費支払状況

(平成23年度)

高額療養費	一般被保険者分	89,347,301円
	退職者被保険者分	3,569,497円
出産育児給付	件数	25件
	金額	9,500,000円
葬祭費	件数	22件
	金額	1,100,000円

後期高齢者医療被保険者証交付状況

(平成24年4月1日)

後期高齢者医療被保険者数	1,448人
--------------	--------

国民年金受給権者数

(平成24年4月1日)

老齢基礎年金	2,119人
老齢年金(旧)	365人
通算老齢年金(旧)	58人
障害基礎年金	144人
遺族基礎年金	9人
障害年金(旧)	7人
寡婦年金	4人
福祉年金の受給権者数	3人
特別障害給付金	1人

国保加入者数と平均保険税額

(平成24年4月1日)

加入者数		平均保険税取額(医療分)	
世帯数(世帯)	被保険者(人)	一世帯あたり	一人あたり
2,360	3,964	77,245	45,067

医療 MEDICAL

町立八丈病院のべ患者数

(平成23年4月1日~平成24年3月31日)

単位:人

区分	総数	一般診療					臨時診療													
		内科	外科	産婦人科	小児科	計	整形外科	皮膚科	精神神経科	神経内科	耳鼻咽喉科	内分沁内科	循環器内科	泌尿器科	糖尿病内科	腎臓内科	消化器内科	眼科	計	
入院	8,842	6,215	1,976	470	181	8,842														
外来	46,870	18,628	7,904	1,299	7,666	35,497	602	1,052	2,934	204	965	361	208	334	1933	403	114	2,263	11,373	

後期高齢者医療給付の状況

(平成23年度)

単位:円

区分	受診件数	受診日数	費用額	保険者負担分	一部負担金	他法負担分
療養の給付等(A)	19,218	37,894	794,847,806	725,739,167	66,268,275	2,840,364
内訳	入院	732	9,710	323,324,030		
	入院外	12,295	22,232	350,739,610		
	歯科	2,888	5,952	39,189,680		
	調剤	3,303		67,139,850		
	食事療養	[649]		14,454,636		
訪問看護	0		0			
療養費等(B)	176		1,454,931	1,301,382	153,549	0
合計(A+B)	19,394		796,302,737	727,040,549	66,421,824	2,840,364

国保医療給付の状況(一般被保険者分)

(平成23年度)

単位:円

区分	受診件数	受診日数	費用額	保険者負担分	一部負担金	他法負担分
療養の給付等(A)	29,455	53,279	876,847,870	637,184,301	208,700,296	30,963,273
内訳	入院	689	9,471	297,079,980		
	入院外	17,214	27,825	414,809,330		
	歯科	8,250	15,950	88,672,450		
	調剤	3,300	[3,864枚]	59,910,660		
	食事療養	[633]	[24,076回]	16,005,000		
訪問看護	2	33	370,450			
療養費等(B)	915		5,732,208	4,075,039	1,602,847	54,322
合計(A+B)	30,370		882,580,078	641,259,340	210,303,143	31,017,595

国保医療給付の状況(退職被保険者分)

(平成23年度)

単位:円

区分	受診件数	受診日数	費用額	保険者負担分	一部負担金	他法負担分
療養の給付等(A)	1,551	2,304	38,279,276	26,783,695	11,117,062	378,519
内訳	入院	20	95	5,288,620		
	入院外	898	1,339	23,701,260		
	歯科	442	870	5,790,790		
	調剤	191	[225枚]	3,343,080		
	食事療養	[18]	[236回]	155,526		
訪問看護	0	0	0			
療養費等(B)	49		310,311	217,207	93,104	0
合計(A+B)	1,600		38,589,587	27,000,902	11,210,166	378,519

■環境衛生施設数 (平成24年4月1日)

区 分	許可件数
総 数	223件
理 容 所	11件
美 容 所	17件
ク リ ー ニ ン グ 所	5件
公 衆 浴 場	7件
ホ テ ル ・ 旅 館 ・ 民 宿 等	92件
興 行 場	1件
プ ール (学 校 プール 含む)	13件
水 道 施 設	18件
小 規 模 貯 水 槽 水 道 等	38件
温 泉 利 用 施 設	10件
墓 地 な ど	6件
特 定 建 築 物 (の べ 床 面 積 3,001㎡ 以上)	5件

■火葬・改葬 (平成23年度)

火 葬	130件
改 葬	15件
計	145件

■水道事業 (平成23年度)

	坂下上水道	坂上簡易水道	全 体
給水人口	6,497人	1,657人	8,154人
普及率	100%	97.2%	99.4%

水源取水能力	表 流 水	2,030㎥/日	0㎥/日	2,030㎥/日
	地 下 水	4,230㎥/日	0㎥/日	4,230㎥/日
湧 水	1,760㎥/日	2,150㎥/日	3,910㎥/日	
計	8,020㎥/日	2,150㎥/日	10,170㎥/日	

有 収 水 量	年間有収水量	1,055,795㎥	240,326㎥	1,296,121㎥
	月平均有収水量	87,983㎥	20,027㎥	108,010㎥
	1日平均有収水量	2,885㎥	656㎥	3,541㎥
	1日1人当たり	447ℓ	394ℓ	430ℓ

給 水 収 益	年間給水収益(円)	233,136,530	49,325,830	282,462,360
	月平均給水収益(円)	19,428,044	4,110,486	23,538,530
	1人月平均給水収益(円)	3,060	2,469	2,857
	給 水 栓 数	5,035栓	1,350栓	6,385栓

■ゴミ処理取扱量 (平成23年度)

施 設	機械バッチ燃焼式焼却炉
処 理 能 力	17.00トン (8時間運転×2炉) / 1日
焼却処理総量	3,217.81トン

区 分	町処理収集量	持ち込み処理量
燃えるゴミ	2,338.66トン	879.15トン
空き缶	46.99トン	4.37トン
空き瓶	81.01トン	38.19トン
金属ゴミ	54.17トン	93.81トン
有害ゴミ	2.39トン	0.99トン
発泡スチロール	0トン	1.49トン
小 計	2,523.22トン	1,018.00トン

総 処 理 量	3,541.22トン
---------	------------

■家庭用生ゴミ堆肥化容器貸与実績

(平成23年度)

130ℓ	16件
200ℓ	106件
計	122件

■し尿汲取量 (平成23年度)

総 量	一 般	7,832kl
	公共施設	7,400kl
	特別施設	432kl
	特別施設	0kl
一 般 汲 取 件 数	3,275件	
公 共 汲 取 件 数	96件	

■水道料金 (平成24年4月1日)

口径 (mm)	装置料金 (円)	水 道 料 金			
		第1段階	第2段階	第3段階	第4段階
13	380	1~ 10㎥	11~ 20㎥	21~ 50㎥	51㎥ 以上
20	450		110円/㎥	145円/㎥	230円/㎥
25	460	1~ 50㎥	51~ 100㎥	101~ 500㎥	501㎥ 以上
30	550		335円/㎥	375円/㎥	390円/㎥
40	590	1~ 100㎥	101~ 500㎥	501~ 5,000㎥	5,001㎥ 以上
50	1,530		390円/㎥	400円/㎥	415円/㎥
65	1,660	1~ 100㎥	101~ 500㎥	501~ 5,000㎥	5,001㎥ 以上
75	1,900		390円/㎥	400円/㎥	415円/㎥
100	2,270	390円/㎥	400円/㎥	415円/㎥	435円/㎥
工事ならびに 臨時用	5,800	480円/㎥			

■小・中学校の状況 (平成24年5月1日)

小学校 4校	児童数：386人
	学級数：23学級
	教員数：57人
中学校 3校	生徒数：174人
	学級数：11学級
	教員数：50人

■高等学校の状況 (平成24年5月1日)

生徒数	全日制	211人		
	定時制	10人		
教員・職員数		58人		
卒業者数		72人 (全日制71人・定時制1人)		
卒業後の進路		全日制	定時制	割合
大学短大進学者	32人	32人	0人	45%
専門学校等	16人	16人	0人	22%
就職進学	0人	0人	0人	0%
就職	18人	18人	0人	25%
その他	6人	5人	1人	8%
計	72人	71人	1人	100%

■学校施設の現況 (平成24年5月1日)

学校名	構造	面積 (㎡)	教室数		校地面積/㎡		付属建物/㎡
			普通	特別	建物敷地	運動場	
三根小学校	RC3階建	4,019	9	13	6,946	9,102 (芝生5,900含む)	体育館RC=1,088 倉庫S=22
大賀郷小学校	RC3階建	2,640	7	10	5,553	5,798 (芝生2,771含む)	体育館RC=790 電気室S=19、W6 倉庫CB=20、S=22 地域・学校連携施設RC=148
三原小学校	RC2階建	2,223	6	10	5,975	2,436 (芝生2,436含む)	体育館RC=695 倉庫S=22
末吉小学校	RC平屋建	1,625	4	8	6,289	4,425	体育館RC=650 倉庫CB=38 地域・学校連携施設RC=158
小学校計	—	10,507	26	41	24,763	21,761	体育館RC=3,223 倉庫CB=58 地域・学校連携施設RC=306
富士中学校	RC2階建 CB	2,226 6	3	13	7,958	15,894	体育館RC=743 倉庫CB=40
大賀郷中学校	RC2階建 RC平屋	2,008 63	5	8	9,942	6,800	体育館RC=848 倉庫CB=60 地域・学校連携施設RC=150
三原中学校	RC2階建	2,269	3	10	6,135	8,739 (芝生2,731含む)	体育館RC=800 倉庫S=116
中学校計	—	6,572	11	31	24,035	31,433	体育館RC=2,391 倉庫CB=100 倉庫S=116 地域・学校連携施設RC=150
小中学校計	—	17,079	37	72	48,798	53,194	体育館RC=5,614 倉庫CB=158 倉庫S=116 地域・学校連携施設RC=456

(RC=鉄筋コンクリート、CB=コンクリートブロック、S=鉄骨、W=木造)

■共同調理場方式完全給食 (平成23年度)

区分	給食数 (1日)	給食予定日数	給食費用単価 (1食あたり)			
			小学校			中学校
			低学年	中学年	高学年	
八丈町	671	195日 (うち米飯週3回)	224.41円	241.52円	267.76円	314.97円
区分	平均月額給食費 (11カ月)					
	小学校			中学校		
	低学年	中学年	高学年			
八丈町	3,875円	4,170円	4,551円	5,440円		

■学校給食の状況 (平成24年4月)

小学校	4校	児童数	386名
中学校	3校	児童数	172名
計	7校	計	558名
教職員ほか			113名
給食人員計			671名

■英会話教室 (平成23年度)

24クラス	180人
-------	------

■婦人会状況 (平成24年4月1日)

	総数	三根	大賀郷	榎立	中之郷	末吉
婦人会員数	566	300	86	46	77	57

■図書館利用状況 (平成23年度)

開館日数		273日	
利用者数	総数		18,596人
	内訳	一般	12,887人
		児童	5,709人
1日平均利用者数		68人	
蔵書数		25,659冊	
視聴覚ライブラリー	ビデオ保有数	37巻	
	DVD保有数	730枚	

■文化財など (平成24年4月1日)

	国指定分	都指定分	町指定分	計
天然記念物	0	0	7	7
有形文化財	1	17	41	59
無形文化財	0	0	0	0
無形民俗文化財	0	3	0	3
史跡・旧跡	0	6	2	8
計	1	26	50	77

天然記念物のうち、地域を定めずに指定されているもの	ヘゴ自生北限地帯 アカコッコ カラスバト イジマムシクイ カムリウミスズメ オカヤドカリ
---------------------------	-------------------------------------------------------------

■公民館施設状況 (平成24年4月1日)

公民館名	地番	電話	完成年度	延床面積	収容人員	概要					
三根	347	2-2330	昭和46年度	560㎡	120	集会室 会議室 (和)	200㎡ 65㎡	実習室 その他	23㎡ 239㎡	図書室	33㎡
大賀郷	3060	2-0963	昭和59年度	746㎡	130	集会室 会議室 (和)	253㎡ 75㎡	実習室 その他	60㎡ 328㎡	図書室	30㎡
檜立	2027	7-0003	昭和50年度	590㎡	120	集会室 会議室 (和)	198㎡ 99㎡	実習室 その他	22㎡ 249㎡	図書室	22㎡
中之郷	2613	7-0002	昭和48年度	564㎡	120	集会室 会議室 (和)	201㎡ 94㎡	実習室 その他	24㎡ 221㎡	図書室	24㎡
末吉	633	8-1003	昭和53年度	614㎡	130	集会室 会議室 (和)	242㎡ 97㎡	実習室 その他	26㎡ 229㎡	図書室	20㎡

■体育施設状況 (平成24年4月1日)

施設名	完成年度	面積	構造	概要
富士グラウンド	昭和63年度 (平成24年度改修)	12,521㎡	内野：混合土 外野：ロングパイル人工芝 外周：砂	バックネット : H=10m L=32m ファウルポール : H=10m ダックアウト : 鉄骨造 投球練習場 : 1塁側・3塁側各2組 スコアボード : メインスタンド 防球ネット : 1塁側 H10m、 3塁側・ライト側 H7m
富士ゲートボール場	平成2年度	4,483㎡	透水性砂入り人工芝	休憩所：平屋鉄筋コンクリート造 49.5㎡ 駐車場：セメント安定処理
ボウリング場	昭和46年度 (平成16年度町へ移管)	347㎡		4レーン
体育館	昭和46年度 (平成16年度町へ移管)	599㎡	砂入り人工芝	コート425㎡
テニスコート	平成7年度 (平成16年度町へ移管)	1,838㎡	全天候透水性舗装	コート2面
檜立屋内運動場	平成19年度 (平成19年度所管替)	650㎡	体育館	
檜立運動場	平成19年度 (平成19年度所管替)	4,450㎡	クレー	
中之郷屋内運動場	平成19年度 (平成19年度所管替)	650㎡	体育館	
中之郷運動場	平成19年度 (平成19年度所管替)	5,557㎡	クレー	

■スポーツ・文化活動の状況 (平成23年度)

スポーツ

区分	活動状況
野球	一般軟式リーグ 198人 (11チーム)：OB (春・秋大会開催)・早朝 (リーグ戦開催) 少年 80人 少年学童・二部 (春・秋大会開催)
バレーボール	一般 127人 (12チーム)：春・秋リーグ戦開催
サッカー	一般・児童 227人 (春・夏・秋・冬リーグ戦、島外チームとの交流大会、ジュニアユース大会等)
バスケットボール	一般 30人 (4チーム)：春・秋リーグ戦開催
卓球	一般 80人：浅草杯等各種大会開催 児童 25人
武道	柔道 85人：武道大会等開催 剣道 65人
テニス	硬式 50人：各種大会開催
ソフトボール	産振研ソフトボール大会、商工会ソフトボール大会
マラソン	走友会、八丈島駅伝大会、パブリックロードレース
町民体育大会	島内5地域で実施
ゲートボール	島内各地域愛好者 120人

文化活動

八丈島サマーコンサート	記念コンサート (夜の部) 出演者：牟田久壽、永井和子、五木田みどり、五木田綾
八丈島民大学講座	「環境とエネルギー ～八丈島の自然エネルギー利用～」 大学教授：金村聖志 「東京の島言葉 ～八丈島と小笠原～」 大学教授：ダニエル・ロング 「『分かち合い』の経済学」 大学名誉教授・地方財政審議会会長：神野直彦
婦人学級	太鼓教室、料理教室、手芸教室、ゲートボール教室、 レイメイキング教室等

■八丈島歴史民俗資料館の状況

昭和50年5月に開館、館内には流人文化を中心とした資料が数多く展示され、八丈の人々や流人の生活を雄弁に物語ってくれる資料、昔使われた生活用具や農耕具、漁具、機織具などのほか、先史時代の石器、古文書、伊万里、瀬戸などの陶器類、羅漢像、八丈の伝説をしのばせてくれる為朝の鎧など展示品は約1,500点にのぼります。

THE HACHIJYO ISLAND MUSEUM OF HISTORY AND FOLKLORE

Opened in May 1975, the museum's display has reached approximately 1,500 items, with a special emphasis on materials related to the old exile culture. Displays speak eloquently of lifestyles past, and include household utensils, farm tools, and fishing and weaving implements used long ago. In addition, there are prehistoric stone and earthenware items, old documents, Imari and old Seto ceramics, an Buddhist figurine, and the armor of [Minamoto no] Tametomo — all of which serve to bring to life the island's rich folklore.

■八丈島歴史民俗資料館 (平成23年度)

開館	1975年5月1日 (昭和50年)		
展示品	考古関係	約345点	民俗関係 約1,000点
	歴史関係	約50点	その他 105点
総数	約1,500点		
入館者数	12,920人		

■町営バス運行実績

(平成23年度)

走行距離	一般乗合	123,099km	82.1%
	観光貸切	26,827km	17.9%
	総数	149,926km	100%

輸送人員	一般乗合	96,267人	80.3%
	観光貸切	23,597人	19.7%
	総数	119,864人	100%

収入金額	一般乗合	14,516,276円	27.6%
	観光貸切	38,014,432円	72.4%
	総数	52,530,708円	100%

■車両台数 (平成23年度)

種類	乗車定員	台数
大型バス	70人乗り	1台
	69人乗り	1台
	57人乗り	1台
	52人乗り	1台
中型バス	59人乗り	1台
	53人乗り	1台
	46人乗り	1台
	42人乗り	1台
	35人乗り	1台
バス車両台数合計		9台
路線数		10系

■観光バス貸切料金 (平成24年度)

	大型バス (34名以上)	中型バス (21~33名)	中型割引 (1~20名)
1周コース	102,680円	90,550円	74,090円
半周コース	58,670円	51,740円	42,340円
送迎	24,000円	21,170円	21,170円

■八丈島内郵便局の状況 (平成24年4月1日)

集配局	三根、中之郷	2局
無集配局	八丈島、榎立、末吉	3局
簡易局	三根川向	1局

■自動車台数 (平成24年4月1日)

自動車台数8,344台／人口8,082人		自動車台数8,344台／世帯数4,522世帯
住民1人あたり／1.03台		1世帯あたり／1.85台
車種	台数	管轄
普通車・その他	3,113	自動車検査登録情報協会
軽自動車	4,366	八丈町
二輪車	124	八丈町
原付自転車	741	八丈町
計	8,344	

■航空貨物取り扱い高

(平成23年1月~12月)

移出	862 t	移入	423 t
----	-------	----	-------

■タクシー台数

(平成24年10月1日現在)

タクシー業者数	15業者	36台
(うち1台で営業している業者)	9業者	
ジャンボタクシー使用業者	4業者	4台
福祉タクシー使用の業者	2業者	2台

■トラック台数

(平成24年4月1日)

総業者数	11業者
トラック台数	90台

■テレビ放送

局名	開局日
NHK三原山サテライト局	昭和40年12月26日開局
民放テレビ放送	昭和45年11月12日開局
テレビ東京放送	昭和58年11月29日開局
東京メトロポリタンテレビジョン	平成7年11月1日開局
八丈デジタル中継局	平成21年3月3日開局
末吉デジタル中継局	平成22年11月1日開局
洞輪沢デジタル中継局	平成22年11月1日開局

■海上貨物取り扱い高

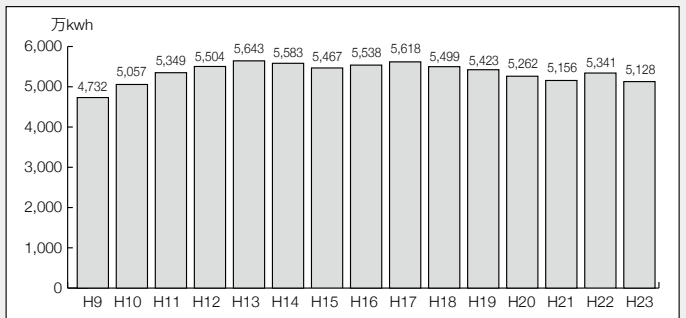
(平成23年1月~12月)

分類	品名	移出 (t)	移入 (t)
農水産品	米・雑穀・豆	2	429
	野菜・果物	112	2,092
	その他農産品	4,912	2,982
	畜産品	32	2,141
	水産品	3,102	1,070
林産品	林産物	204	1,235
	砂利・砂	0	103,152
鉱産物	石材	0	17,140
	石灰石	0	25,500
	その他非金属鉱物	0	20,906
金属機械工業品	完成自動車	1,709	4,862
	鋼材	0	7,002
	金属製品	3	3,250
	産業機械	12	61
	その他機械・部品	43	1,043
	セメント	0	24,925
化学工業品	LPG(液化石油ガス)	0	3,562
	その他窯業品	0	3,188
	重油	843	10,352
	石油製品	3	7,115
	化学肥料	0	692
	塗料・その他化学工業品	0	124
軽工業品	飲料	490	2,586
	製造食品	4	0
	その他・食料工業品	2	0
	紙・パルプ	0	1
雑工業品	日用品	0	2
	他に分類されない木製品	0	6,502
特殊品	金属くず	3,868	566
	動植物性製造飼料	0	346
	廃棄物	360	0
	輸送用容器	7,424	6,164
	再利用資材	0	11
	取り合わせ品	196	26,191
分類不能のもの	6,386	0	
合計	29,707	285,192	

■電力の状況 (平成23年度)

内燃力発電認可出力	11,100kW	
地熱発電認可出力	3,300kW	
風力発電認可出力	500kW	
日最大電力	9,359kW (平成24年2月2日)	
燃料A重油	年間消費量	9,280kL
	年平均	25.4kL/日
年間発電電力量	5,128万kWh (うち地熱 1,456万kWh) (うち風力 53万kWh)	

■発電量の推移



■八丈都市計画区域

昭和47年2月22日付東京都知事に申請
昭和48年1月5日に八丈小島を除く全域を都市計画区域に指定

■横間道路改修工事

通称横間道路（都道215号線の一部）は、為朝神社からトンネル入り口までの延長1,325mです。

この道路は八丈島の坂上地域と坂下地域を結ぶ大動脈であり、島内の経済活動及び、日常生活には欠くことのできない道路です。

昭和56年から総工費約61億円をかけ、地形に合わせて盛土、橋りょう、栈道、洞門の各形式をとりながら本格改修工事に着手しました。13年間の年月をかけ、平成6年4月21日に安全で快適な道路として全線開通しました。

■都道と町道（平成24年4月1日）

区分	都道	町道
延長	58,251m	431,275m
面積	671,384㎡	1,476,188㎡
舗装率	100%	59.18%

■公園と児童遊園地（平成24年4月1日）

施設名	管理者	面積	備考
東京都立八丈植物公園	東京都	224,068㎡	散歩、休息、遊戯、鑑賞
底土園地	東京都	987㎡	散歩、休息、遊戯
底土野営場	東京都	13,145㎡	野営、炊事、休息
南原園地	東京都	8,600㎡	散歩、休息
大湯浦園地	東京都	12,232㎡	散歩、休息、遊戯
登龍園地	東京都	1,851㎡	散歩、休息
大賀郷園地	東京都	48,448㎡	散歩、休息、遊戯
護神山公園（護神山緑地）	八丈町	12,438㎡	都市計画緑地、散歩、休息
底土海浜公園	八丈町	14,720㎡	都市計画公園、散歩、休息
南原スポーツ公園	八丈町	59,797㎡	都市公園、サッカー場、野球場
神湊児童遊園地	八丈町	1,447㎡	散歩、休息、遊戯
稲葉児童遊園地	八丈町	2,221㎡	散歩、休息、遊戯
八重根児童遊園地	八丈町	818㎡	散歩、休息、遊戯
大里児童遊園地	八丈町	730㎡	散歩、休息、遊戯
樫立児童遊園地	八丈町	968㎡	散歩、休息、遊戯

■都市計画道路（平成24年4月1日現在）

八丈都市計画道路3・4・1号底土・空港・八重根線		
延長	約7,352m	
幅員	18m	
交通広場	(底土)	約6,600㎡
	(八重根)	約5,200㎡
都市計画決定	S54. 3. 29	
延伸決定	H1. 3. 20	

	事業認可	認可区間	工事完成
第1期区間	S55. 1. 16	空港～倉の坂間 2,062m	S61年度
第2期区間	S61. 6. 19	倉の坂～底土間 1,690m	H11年度
第3期区間	H1. 10. 25	八重根～永郷線 1,960m	H15年度
第4期区間	H7. 3. 1	永郷線～空港 1,640m	H23年度

■八丈島空港の施設状況（平成24年4月1日）

種別	地方管理空港	
供用開始	昭和37年5月1日	
政令指定	昭和33年12月25日	
空港の位置	北緯	33°06'54"
	東経	139°47'09"
	標高	91.7m
飛行場用地	総面積	763,241㎡（場内道路含む）
	国有地	336,087㎡
	都所有地	427,154㎡
対象機種	エアバス320-200	
	ボーイング737-800	
	ボーイング737-700	

基本施設	滑走路	着陸帯	誘導路	エプロン
	延長 2,000m 幅員 45m SIWL 24t (舗装厚 30cm)	延長 2,120m 幅員 150m	延長 85m 幅員 23m	面積 15,300㎡ B737型用 3バス
ターミナルビル	照明施設			
3階建 3975.44㎡ (延床面積)	進入灯台 : 2基 進入角指示灯 : 8基 滑走路末端灯 : 34基 滑走路末端識別灯 : 2基 過走帯灯 : 10基 飛行場灯台 : 1基 障害灯(中光度) : 7基 滑走路中心線灯 : 67基 自家発電機 : 150kVA	進入路指示灯 : 9基 滑走路灯 : 68基	誘導路灯 : 28基 風向灯 : 2基 エプロン照明灯 : 4基 誘導路中心線灯 : 22基 簡易式進入灯 : 一式	

■港湾施設（平成24年4月1日）

種類	港名	管理者 設立年月日	対象船舶	港湾施設						備考
				岸壁 (-6.0~-7.5m)	船客 待合所	輸送管 設備	夜間荷役 照明	船揚場	荷捌用地	
地方港湾	神湊港 (底土港)	東京都 昭和28.3.31	小型船 500t~5,000t	310m	一棟	一式	一式	1,320㎡	11,270㎡	
	八重根港	東京都 昭和28.3.31	500t~5,000t	230m	一棟	-	-	-	1,399㎡	平成24年 2月1日 供用開始
避難港	洞輪沢港									昭和29年 7月2日 指定

■町営住宅の現況 (平成24年4月1日)

地域	団地名	戸数	構造	間取り別戸数内訳		
				1K, 1DK, 1LDK	2K, 2DK, 2LDK	3K, 3DK, 3LDK
三根	郡ヶ平団地	12	簡耐		12	
	群ヶ平第2団地	16	耐火			16
	中道団地	52	簡・耐	8	17	27
	富士見団地	23	耐火	4	11	8
	神湊第1団地	24	耐火	24		
	神湊第3団地	23	耐火	11	6	6
	桜平団地	29	耐火	13	8	8
	新道団地	12	耐火	2	8	2
丘里団地	16	耐火		12	4	
小計	9団地	207		62	74	71
大賀郷	屋和川団地	30	簡耐		20	10
	原山団地	16	簡耐			16
	八蔵団地	54	耐火	6		48
	寺山団地	38	耐火	11	7	20
	八重根団地	12	耐火	12		
小計	5団地	150		29	27	94
樫立	湯浜団地	8	簡耐			8
	康政里住宅	2	木造			2
	東六里住宅	6	木造			6
	康政里第2住宅	6	木造			6
	江能里住宅	3	木造			3
小計	5団地	25		0	0	25
中之郷	上浦団地	8	簡耐			8
	中之郷団地	15	耐火	5	2	8
	粥倉住宅	2	木造			2
	粥倉第2住宅	2	木造			2
	藍ヶ里住宅	4	木造			4
	尾越住宅	2	木造			2
	尾越第2住宅	4	木造			4
	中里住宅	2	木造			2
	三原住宅	4	木造			4
	三原第2住宅	1	木造			1
	藍ヶ江住宅	2	木造			2
上浦住宅	2	木造			2	
小計	12団地	48		5	2	41
末吉	末吉団地	8	耐火	2	2	4
	瀬戸団地	15	耐火	8	2	5
	神子尾住宅	2	木造			2
	道ヶ沢住宅	2	木造			2
	名古屋住宅	2	木造			2
小計	5団地	29		10	4	15
合計	36団地	459		106	107	246

■警察署の概要 (平成24年4月1日)

本署	1力所	32人
駐在所	7力所	7人
警察職員数計		39人

■少年事案取り扱い件数 (刑法犯のみ)

罪種	平成23年
粗暴犯	0件
窃盗	0件
その他 特別法犯	0件
計	0件

■民有家屋などの棟数

(固定資産課税台帳調べ：平成24年1月1日)

()内は1棟当たりの平均床面積 m²

区分	木造	木造以外	総数
個人	4,017棟 (80.6)	1,087棟 (107.7)	5,104棟 (86.3)
法人	150棟 (90.7)	397棟 (237.9)	547棟 (197.5)
合計	4,167棟 (80.9)	1,484棟 (142.5)	5,651棟 (97.1)

■消防団などの状況 (平成24年4月1日)

消防団	239人	(本部1分団・5分団)
消防本部	23人	(職員)

■消防団団員数 (平成24年4月1日)

地区別	区分							計
	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	
本部	1	1			1	1	13	17
三根			1	1	7	20	41	70
大賀郷			1	1	6	20	32	60
樫立			1	1	4	10	13	29
中之郷			1	1	4	12	28	46
末吉			1	1	4	7	4	17
総数	1	1	5	5	26	70	131	239

■消防施設など (平成24年4月1日)

区分	地区別	三根	大賀郷	樫立	中之郷	末吉	総数
		防火水槽	40m ² 以上	61	59	21	
	40m ² 未満	4	14	1	4	2	25
消火栓		10	10	0	11	0	31
詰所		3	1	1	1	1	7
器具置場		0	0	0	0	1	1

■消防車両の状況

(平成24年4月1日)

消防ポンプ自動車	7台
司令車・指揮車	2台
照明電源車	2台
救急車	2台
可搬ポンプ	3台

■原因別救急出動件数

(平成23年度)

急病	312件
一般負傷	62件
交通事故	17件
労働災害	3件
水難	1件
加害	5件
運動競技	0件
自損行為	10件
その他	43件
計	453件

■犯罪件数

年次	凶悪犯	粗暴犯	盗犯	知能犯	その他	総数
平成23年	0	6	20	2	1	29

■平成23年中の交通事故件数

総数	120件
そのうち、飲酒が原因のもの	3件

■普通会計

普通会計決算（純計）（平成23年度）

単位：千円

決算 収支の 状況	歳入総額 A	10,710,819
	歳出総額 B	9,515,359
	歳入歳出差引額 (A-B) C	1,195,460
	翌年度へ繰越すべき財源 D	1,019,914
	実質収支 (C-D) E	175,546
	単年度収支 F	288
	積立金 G	100,000
	繰上償還額 H	0
	積立金取崩額 I	0
	実質単年度収支 (F+G+H-I) J	100,288
指数等	基準財政需要額	3,057,337
	基準財政収入額	929,990
	標準財政規模	3,534,614
	財政力指数	0.311 単年度 (0.304)
	経常収支比率	75.5%

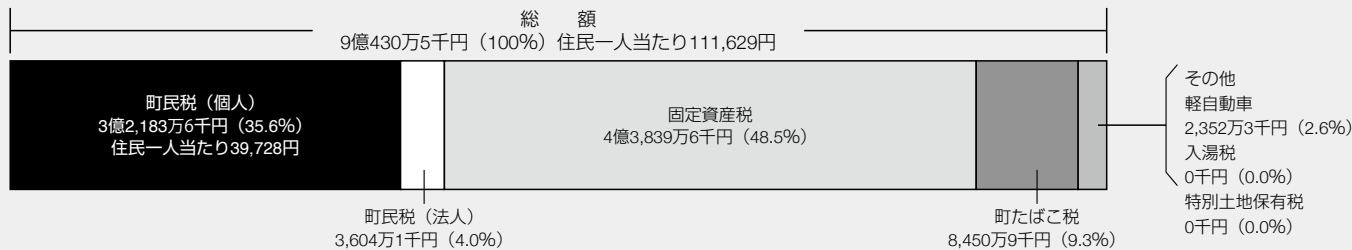
■企業会計決算

（平成23年度）

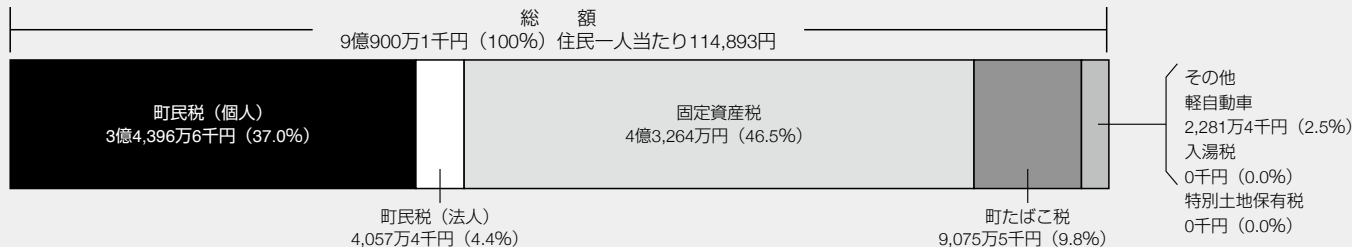
単位：千円

会計別	総収益	総費用	当年度純利益 (損失)
水道事業会計	296,552	295,556	996
一般旅客自動車運送事業会計	108,418	107,797	621
病院事業会計	1,523,668	1,525,734	-2,066

■税目別町税収入見込額（平成24年度）



■税目別町税収入決算額（平成23年度）

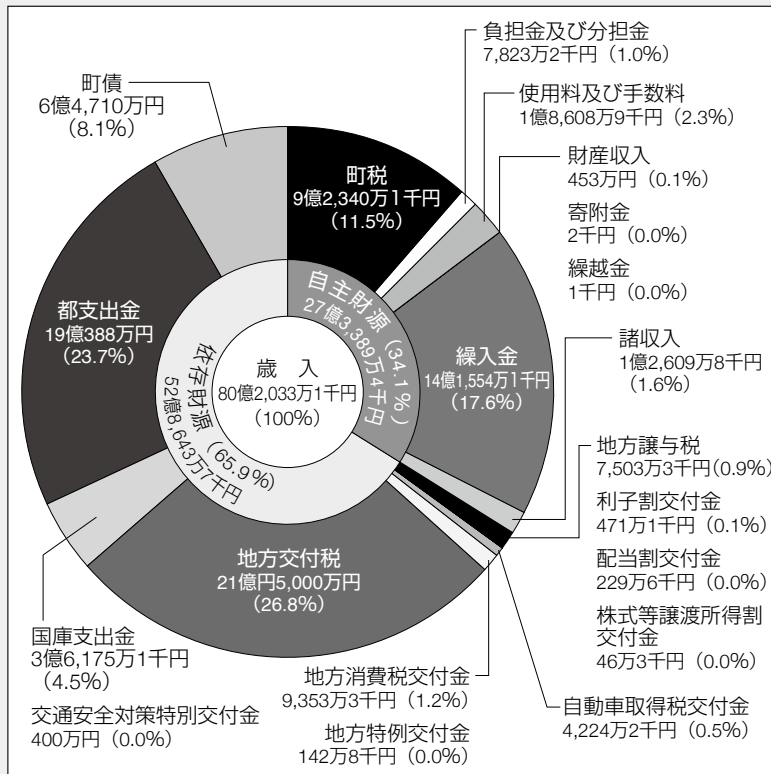


■平成24年度当初予算（平成24年度）

総額 132億8,053万7千円（100%）

一般会計	特別会計	企業会計
80億2,033万1千円 (60.4%)	25億8,273万9千円 (19.4%)	26億7,746万7千円 (20.2%)

■一般会計歳入予算額（当初予算）（平成24年度）



※%は、少数点2位を四捨五入

■特別会計（当初予算）（平成24年度）

介護保険	8億3,530万9千円
国民健康保険	13億6,192万6千円
用品	332万1千円
後期高齢者医療	1億8,173万3千円
浄化槽設置管理事業	2億45万円

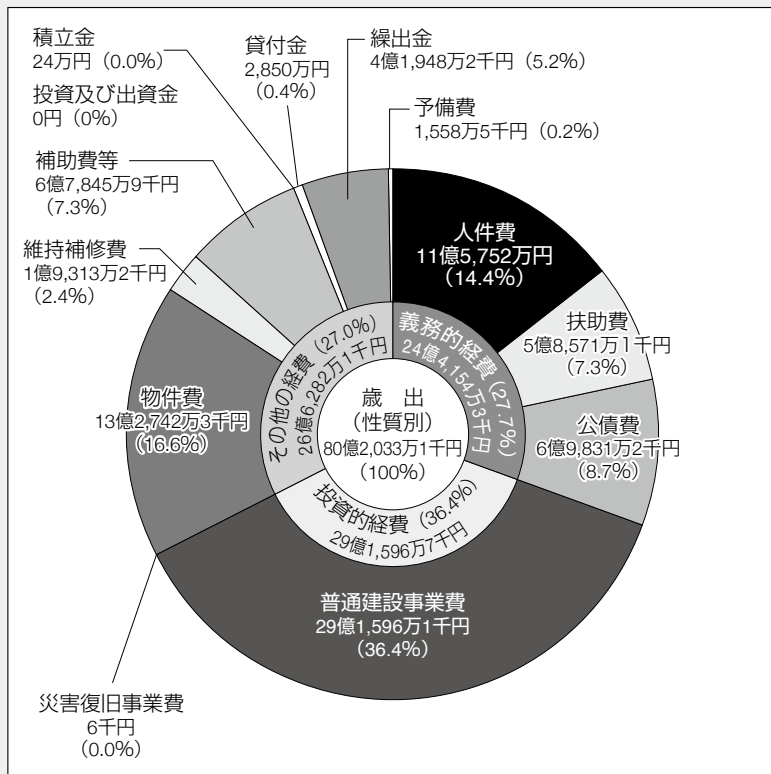
（一部公営企業会計適用）

■企業会計予算額（当初予算）

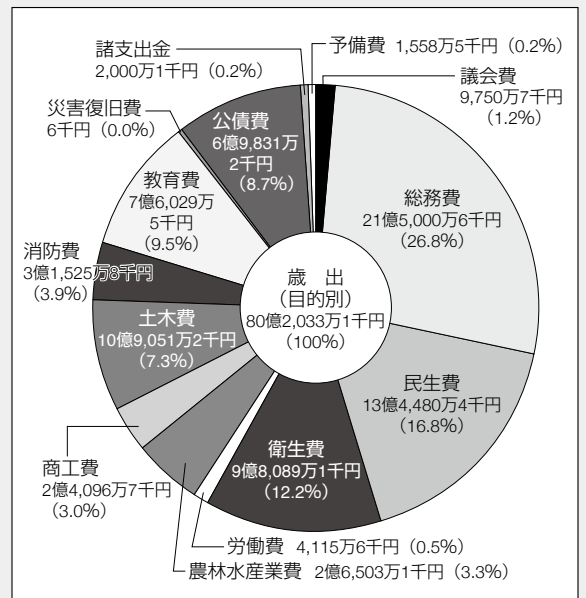
（平成24年度）

水道事業	7億6,237万3千円
一般旅客自動車運送事業	1億2,129万8千円
病院事業	17億9,379万6千円

■一般会計歳出予算額（当初予算）（平成24年度）



※%は、少数点2位を四捨五入



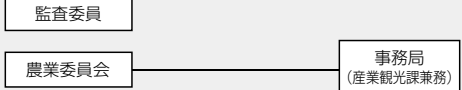
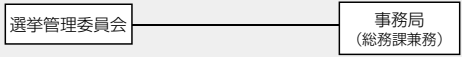
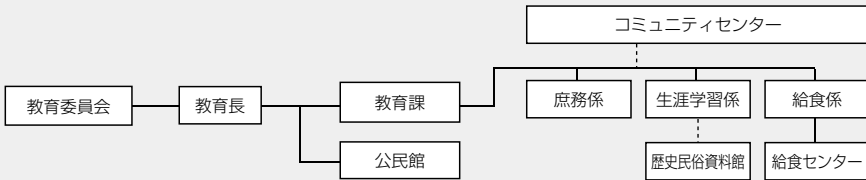
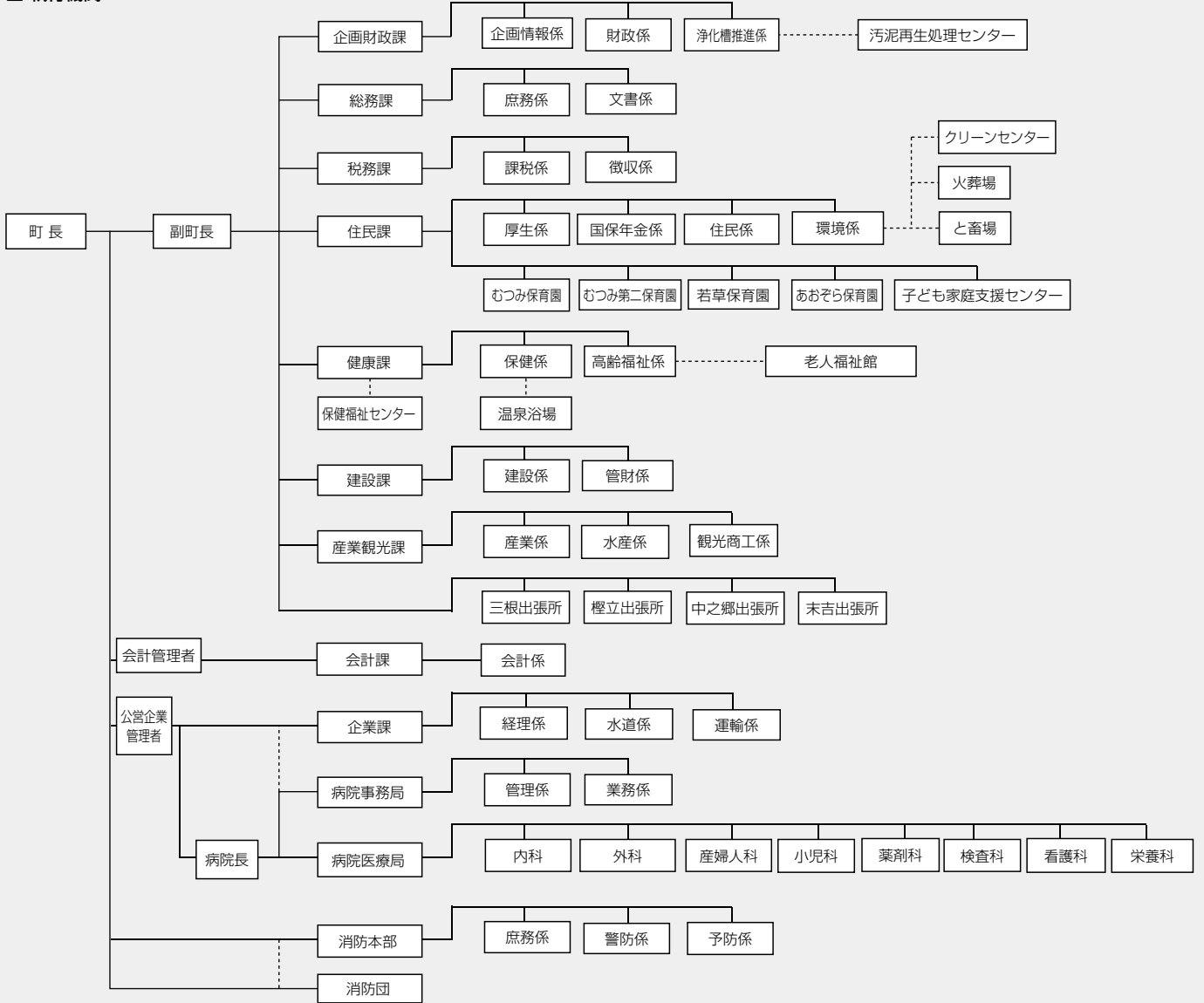
※%は、少数点2位を四捨五入

■八丈町機構図（平成24年度） 平成24年4月1日現在

■ 議決機関

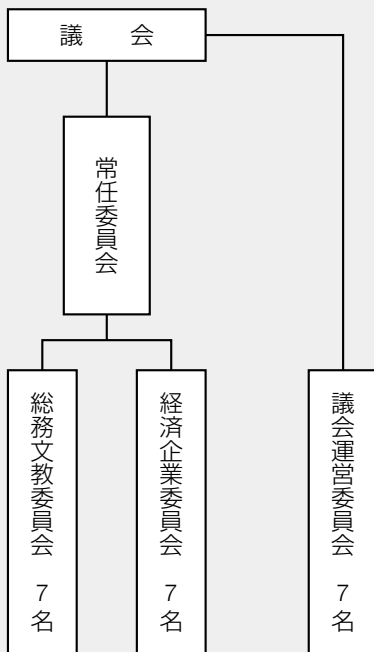


■ 執行機関



(専門機関)

■議会構成 (平成24年11月1日)



■党派別議員数 (平成24年11月1日)

党派	人数
自由民主党	3名
公明党	2名
無所属	8名
共産党	1名
計	14名

■町議会会議開催状況 (平成23年)

会議名		回数
本会議	定例会	4回
	臨時会	4回
総務文教委員会 (協議会を含む)		1回
経済企業委員会 (協議会を含む)		1回
議会運営委員会 (協議会を含む)		6回
全員協議会		4回

■町長提出付議事件件数 (平成23年)

		原案可決	修正可決	否決	継続審査	審議未了	撤回
地方自治法第96条1項議決事件	条例 (1号)	9	0	0	0	0	0
	予算 (2号)	45	0	0	0	0	0
	決算 (3号)	9	0	0	0	0	0
	4号から14号までの議案	11	0	0	0	0	0
地方自治法第96条1項15号及び96条2項を含むその他全ての議案		16	0	0	0	0	0
専決処分議案 (地方自治法第179条)		8	0	0	0	0	0

歴史のあけぼの

八丈島の古代については、考古学会でも無人島であったとされてきましたが、昭和37年夏、樫立で三原中学校の生徒が磨製石斧を発見したことがきっかけとなって湯浜遺跡の調査が始められました。昭和52年には、倉輪遺跡が発見され、人骨や装飾品なども出土しました。これらの遺跡調査から次のことが明らかになりました。①八丈島には6,500年ほど前には人が住んでいたが、ずっと住み続けていたわけではない。②遺跡の規模、神津島産の黒曜石の矢じり、本土から持ち込まれた縄文式土器、丸木舟を作ったと思われる石器などが出土していることから、人々は島伝いに移って来てまた移り去ったか、あるいは死に絶えた。③水が近くにあり、木の実や山芋、魚・貝・鳥などを入手し易い場所に住居を構えていた。また、倉輪遺跡時代に犬や猪の骨が多く出土していることから、以前に持ち込んだ猪が増え、狩りをしていただのではないかと考えられる。

鎌倉から江戸時代まで

八丈島が本土の支配下に置かれたのは、東鑑によれば鎌倉時代の1186年（文治2年）で相模の国に属したとされています。また、統治機関が置かれたのは、室町時代の1338年（延元3年）、足利氏の執事上杉憲顕が奥山伊賀と菊池治五郎を代官として在島させたのが最初とみられます。1440年（永享12年）に神奈川の領主奥山宗林が支配したが、15世紀の末期、三浦・北条氏の勢力が入って以来、三氏の抗争が続き1515年（永正12年）になって北条氏が勝利を得、全島を支配するに至りました。この権力争いの原因は八丈島特産の貢租「黄八丈」にあったと見られています。その後、1604年（慶長9年）から明治に至るまで徳川幕府の支配下が続きましたがこの間、しばしば天災地変・飢饉・悪疫に襲われており、島民の生活は厳しく、苦しいものでした。また、この265年間に約1,900人の罪人が流されてきました。

明治以降の八丈島

明治3年に葦山県、同4年に足柄県、同9年静岡県在所管となり、同11年1月11日に東京府に属して以来東京都の今日に及んでいます。明治41年に八丈本島の5ヶ所に島嶼町村制が施行されたが、小島の2ヶ村には施行されず、昭和22年10月の地方自治法施行まで名主制度が続きました。

THE DAWN OF HISTORY

Although archaeological societies considered Hachijo to be an uninhabited island in ancient times, in the summer of 1962, starting with the discovery of a polished stone ax by a student of Mihara Junior High School, a survey of the Yubama ruins began. In 1977, the Kurawa ruins were discovered, and human bones and ornaments were dug up. The following were made clear from these ruins surveys.

①Although people were living in Hachijojima about 6,500 years ago, they did not remain on the island continuously. ②People either came and left by way of the other islands, or they simply passed away. Support for the aforementioned come from the scale of the ruins, obsidian arrowheads that are Kozushima-made, Jomon earthenware from the mainland, and stone implements thought to be used to make canoes. ③Houses were built in good locations due to the water being nearby and the ease of obtaining things such as fruits, potatoes, fish, shellfish, and birds. Also, it is thought that wild boar, which flourished when brought to the island, was hunted because of the numerous boar and dog bones found at the Kurawa ruins.

FROM THE KAMAKURA PERIOD TO THE EDO ERA

According to the Azumakagami=Hachijojima came under the control of the mainland in 1186, during the Kamakura period (1185-1333), and was classified as a part of Sagami-no-kuni [the present Kanagawa Prefecture]. The first permanent placement of government officials on the island is thought to have occurred in 1338, during the Muromachi period (1336-1573), when Ashikaga vassal Uesugi Noriaki dispatched envoys Okuyama Iga and Kikuchi Jigoro. In 1440, Okuyama Sorin — a major landholder in Kanagawa — controlled Hachijo, but in the latter part of the 15th century the island was enveloped in a three-way struggle for control. Competing with Okuyama were Miura Dosun of Sagami, and Hojo Soun of Odawara. The struggle continued until 1515, when Hojo emerged victorious and brought the entire island under his control. The origin of this rivalry is thought to have been kihachijo = a silk product unique to Hachijojima and used for payment of taxes. Later, from 1604 to the beginning of the Meiji period (1868-1912), the island was under the jurisdiction of the Tokugawa shogunate. It was during this period that nearly 2000 people were exiled to Hachijojima for various crimes, leading to the island's reputation as an "exile island." It was also during this time that islanders were subjected to a number of natural disasters, famines, and plagues; life on Hachijo was bitter and harsh.

HACHIJOJIMA FROM MEIJI ON

In 1869 Hachijo was placed under the jurisdiction of Sagami Prefecture, bringing into being the villages of Mitsune, Okago, Kashitate, Nakanogo, and Sueyoshi on Hachijojima, and those of Utsuki and Toriuchi on Hachijo-Kojima [the islet just off the coast of Hachijojima]. Over the next ten years various prefectures held sway over Hachijojima: Nirayama (1870); Ashigara (1871); Shizuoka (1876); and Tokyo (Jan. 11, 1878), under the jurisdiction of which it has since remained.

The 1908 Islands, Towns, and Villages Ordinance was implemented in the five villages of Hachijojima, but not on Hachijo-Kojima, where the village-head system of government continued until promulgation of the Local Government Act in October 1947.

八丈町の成立

昭和29年10月1日、町村合併促進法により三根、檉立、中之郷、末吉、鳥打の各村が合併して「八丈村」に、翌30年4月1日、八丈、大賀郷、宇津木の各村が合併して「八丈町」が誕生し、今日に及んでいます。

八丈小島の引き揚げ

昭和29、30年の合併により八丈町が誕生しました。このころ小島は、生活条件は向上したものの、その後は過疎化が激しく生活水準の格差も増し、高齢化が進み、開発計画も行き詰まり、住民もついに100名を割ってしまいました。このようななかで全員離島の話が持ちあがり、昭和41年3月全員離島を訴え、八丈町議会に請願書を提出しました。

請願を受けた町議会は、昭和41年6月20日、小島の実情調査を行い、同月22日にこれを採択しました。

請願内容を要約すると、

1. 電話・水道・医療の施設がない
2. 生活水準格差の増大
3. 人口過疎の傾向が甚大である
4. 子弟の教育のあい路

これにより、昭和44年1月より都の援助で全員が引き揚げ無人島となりました。

離島までの経緯

昭和41年	3月	小島住民全員離島決意、八丈町議会に対し、「移住促進、助成に関する請願書」提出
	6月	八丈町議会「請願」採択
	7月	八丈町議会、小島引き揚げ対策協議会設置
昭和42年	9月	八丈町対都「八丈小島住民の全員離島の実施に伴う八丈町に対する援助」陳情
昭和43年	10月	土地買収価格（在住者坪当たり93円、不在者60円）などについて、住民との協議成立
昭和44年	1月	離島開始
	6月	鳥打小・中学校、宇津木小・中学校廃校全員離島する。 24世帯 人口91人

THE BIRTH OF THE MUNICIPALITY OF HACHIJO

On Oct. 1, 1954, under the provisions of the Towns and Villages Amalgamation Act, the villages of Mitsune, Kashitate, Nakanogo, Sueyoshi, and Toriuchi were combined into the Village of Hachijo, which on April 1, 1955 was combined with the villages of Okago and Utsuki to create the present Town of Hachijo.

RELOCATION FROM HACHIJO-KOJIMA

Although living conditions on Hachijo-Kojima had improved around the time of the 1954-55 incorporations, the island later suffered from severe depopulation, a decline in the standard of living, an aging population, and deadlocked development plans. Eventually there were fewer than 100 people living on the island, and talk of relocating residents increased. In March 1966 all residents petitioned the Hachijo Town Council for relocation, and on June 20 the council conducted a survey of Hachijo-Kojima; on June 22 the residents' petition was accepted. The petition cited the following factors in requesting relocation:

1. Lack of telephone, water, and medical facilities.
2. An increased disparity in living standards.
3. An increased tendency toward depopulation.
4. The education bottleneck.

Based on the above, in January 1969 all residents were evacuated with assistance from the Tokyo metropolitan government, leaving Hachijo-Kojima deserted.

Steps to relocation

1966	March	Residents opt for relocation, and submit "A Petition Regarding Aid for and Expedition of Relocation" to Hachijo Town Council.
	June July	Hachijo Town Council adopts the petition. Hachijo Town Council establishes the "Kojima Relocation Policy Committee."
1967	September	Hachijo petitions the Tokyo Metropolitan Government regarding "Aid to the Town of Hachijo Coinciding with Implementation of the Relocation of All Residents of Hachijo-Kojima."
1968	October	Creation of residents' conference on land prices, etc. (Land was purchased from residents for ¥28.1/m ² , and from non-residents for ¥18.1/m ² .)
1969	January	Relocation process begins.
	June	Toriuchi and Utsuki elementary and junior high schools closed. All residents leave the island (24 households/91 people).



東京都八丈町勢要覧「はちじょう2012」資料編

平成25年3月 印刷・発行

編集・発行：八丈町企画財政課企画情報係

東京都八丈島八丈町大賀郷2345番地1

電話 04996-2-1121

URL <http://www.town.hachijo.tokyo.jp/>

印刷：明誠企画株式会社

東京都武蔵村山市榎2-25-5

電話 042-567-6233 (代)